

私が初めて読んだマンガは、『ドラえもん』でした。日本人で知らない方は、きっといないでしょう。読みはじめると、たった一冊のマンガなのに、すいこまれるように惹かれていきしました。ドラえもんは、アニメも人気です。中国などでもドラえもんは愛されていますよね。初めてドラえもんのアニメを見たとき、なにか分からない、魅力がありました。声？話？何か分かりませんでした。今でも私はその魅力を考えています。

ドラえもんが今でも愛されているのは、『夢』があるからなのではないでしょうか。みんな、『ドラえもんがいたらなー』と思うから、今でも愛され続けているのでしょう。私はドラえもんを見ていて、そう感じました。キャラクターもユニークだし、未来のことを想像してマンガがなく、藤子F不二雄さんはすごいと思いました。ドラえもんは、道具を使ってみたい！利用したい！という気持ちのためではなく、大きな夢を持ってほしい。

藤子さんは、そう伝えたかったんじゃないでしょうか。もしそうだったら、バヤッしい人だったことでしょう。

さて、中でも私がアニメでステキだなと思っただのは、「ドラえもんが生まれ変わる日」です。ドラえもんは、初めは、かん品でした。そして、それを作った人が、ドラえもんをかいどうしそうになったが、やめたという話です。その話を見て私は、絆が深いんだな、のび太とドラえもんは、と思いました。「絆」

って何でしょう。説明はむずかしいですね。そのドラえもんを作った人は、上手く言えないのですが、こう言っていました。「ドラえもんは、かん品だが、あの少年がみんなに別れるのを惜しんでいるのだ。おまえをもどそう。レとドラえもんに言っていました。のび太はいつも、ドラえもんの道具を勝手に使っているがばかりしている少年だけど、ドラえもんのことを大好きで、深く絆でむすばれています。私も、ドラえもんとのび太のように

深い絆で必ずばれた友達をつくりたいです。
今の日本は、とても深刻な状態です。そんな時、「夢」という言葉を思い出しませんか。そして、どんどん夢を広げましょう。